

税務判例の読み方基礎講座（全2回）のご案内

東京青年税理士連盟 会長 手塚 久雄
研究部長 湊 真志

日 時：第1回 平成28年11月14日(月)
19時～20時40分
第2回 平成28年12月19日(月)
19時～20時40分

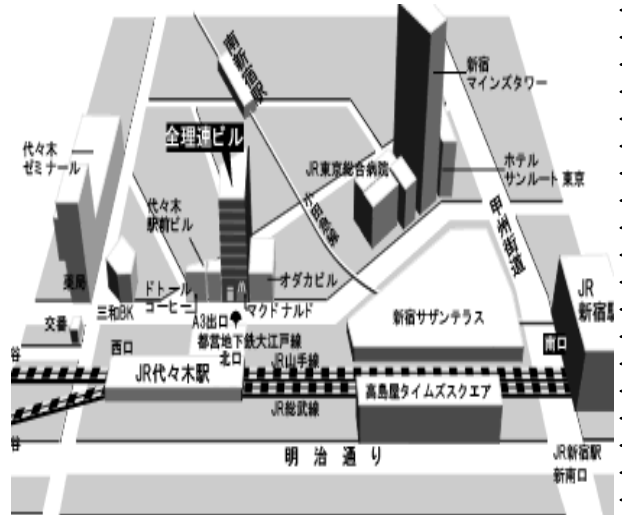
場 所：第1回 全理連ビル
第2回 東京税理士会館

講 師：青山学院大学法学部教授
木山 泰嗣(きやま ひろつぐ)先生

講義内容：税務判例を読む上で押さえておくべき
ポイントを全2回でご講義頂きます。

対 象：会員・準会員

参加費：500円(資料代)



渋谷区代々木 1-36-4 全理連ビル

ようやくしのぎやすい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしですか。

今回の研究部研修会は、青山学院大学法学部教授・弁護士の木山泰嗣先生をお招きし、「税務判例の読み方基礎講座」を全2回で開催いたします。

税理士は、税理士法第一条で「税務に関する専門家」と規定されています。すなわち税理士は税法という法律の専門家です。それではみなさんは法律的な考え方を身に付けていると言えるでしょうか。

税理士試験では、税法の勉強をしますが、税法の試験は法解釈を問われるわけではありません。そのため税理士試験の勉強では、法律的な考え方を身に付けることはできません。

今回の講座では、税務判例の読み方の基礎をご講義いただきます。税務判例を読むためには、法律的な考え方が必要となります。すなわち判例の読み方を勉強することにより、法律的な考え方を勉強することになるのです。

木山先生は税務判例の読み方の本をはじめ多くのご著書を出されており、また、大学で教鞭をとられており、わかりやすくご講義していただきます。

この機会に税務判例の読み方の基礎知識を身に付けて、税理士の業務に役立てましょう！日常業務での税務判断や、税務調査で法解釈を争う場面で役に立ちます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

○●木山 泰嗣 先生のプロフィール●○

青山学院大学法学部教授(税法専攻)、弁護士(鳥飼総合法律事務所客員)。横浜生まれ。上智大学法学部法律学科卒。税務訴訟及び税務に関する法律問題を専門にする。過去における弁護士としての主な担当事件に、ストック・オプション税務訴訟などがある。

『税務訴訟の法律実務』(弘文堂)で第34回日税研究賞「奨励賞」を受賞。専門書にとどまらず、一般書の執筆も行っており、単著の合計は40冊を超える。代表作に『小説で読む民事訴訟法』(法学書院)『センスのよい法律文章の書き方』(中央経済社)『憲法がしゃべった。』(すばる舎リンケージ)『反論する技術』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)『法学ライティング』(弘文堂)などがある。

「むずかしいことを、わかりやすく」、そして「あきらめないこと」がモットー。

税法に関する著書は、上記のほかに『租税法重要「規範」ノート』(弘文堂)『税理士のための税務訴訟入門』(税務研究会)『分かりやすい「所得税法」の授業』(光文社新書)『法律に強い税理士になる』(大蔵財務協会)『「税務判例」を読もう!』(ぎょうせい)『超入門コンパクト租税法』(中央経済社)『税務判例が読めるようになる』(大蔵財務協会)などの専門書のほかに、税務訴訟を小説で描いた『小説で読む行政事件訴訟法』(法学書院)などがある。